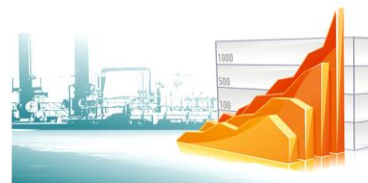


# ぎふ経済レポート



令和2年10月分  
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは 10月26日～28日を中心に実施し、11月17日時点で作成。

# 景気動向

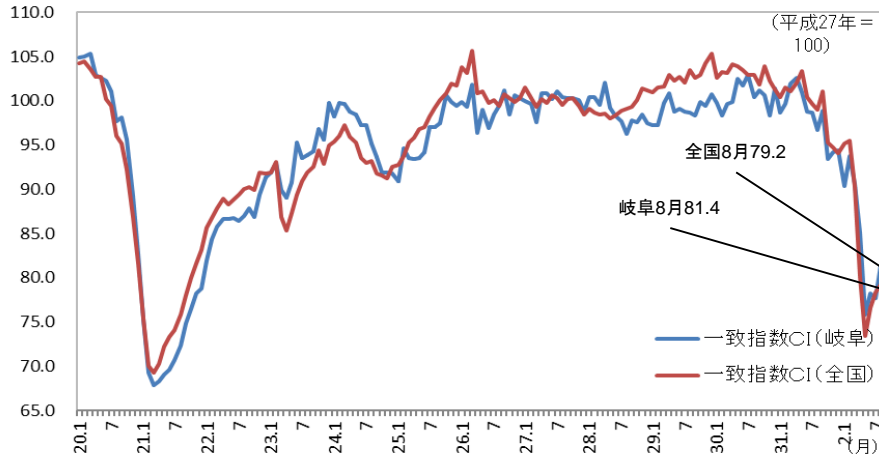
○8月の景気動向指数(一致指数)は、81.4で前月比3.7ポイント上昇した。

○9月の県内中小企業の景況感は、▲78で前月比3ポイント悪化した。

○10-12月の景況DI見通しは、製造業で15.2ポイント、非製造業で8.0ポイント改善した。

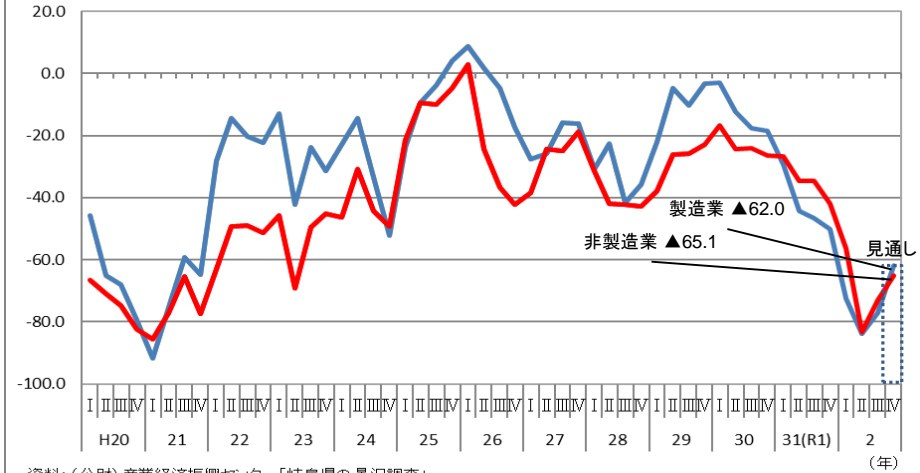
○同売上高DI見通しは、製造業で2.1ポイント改善、非製造業で▲0.3ポイント悪化した。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



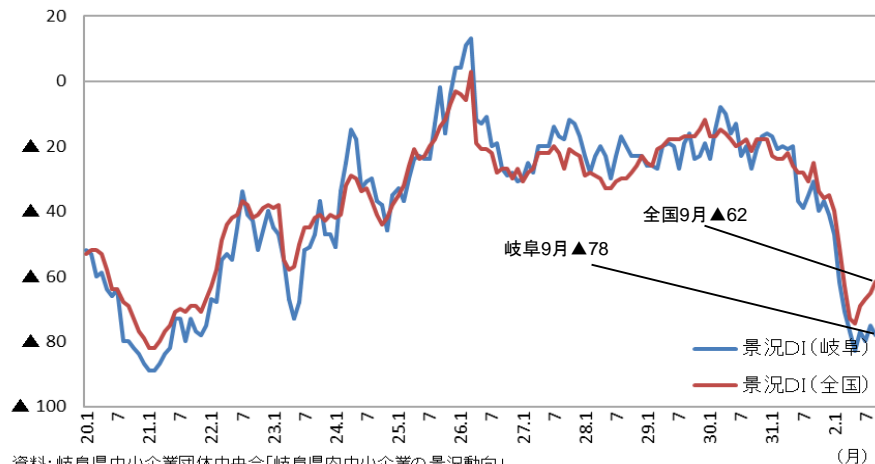
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



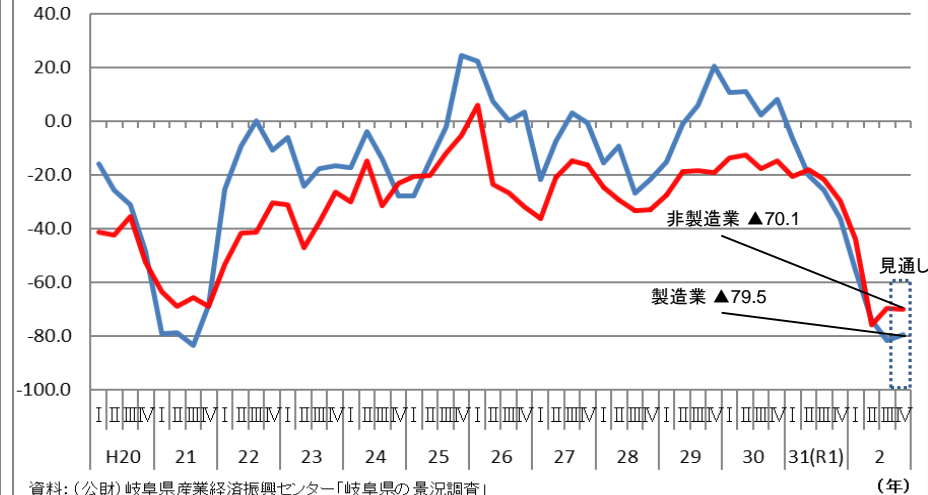
資料: (公財) 産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、  
全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



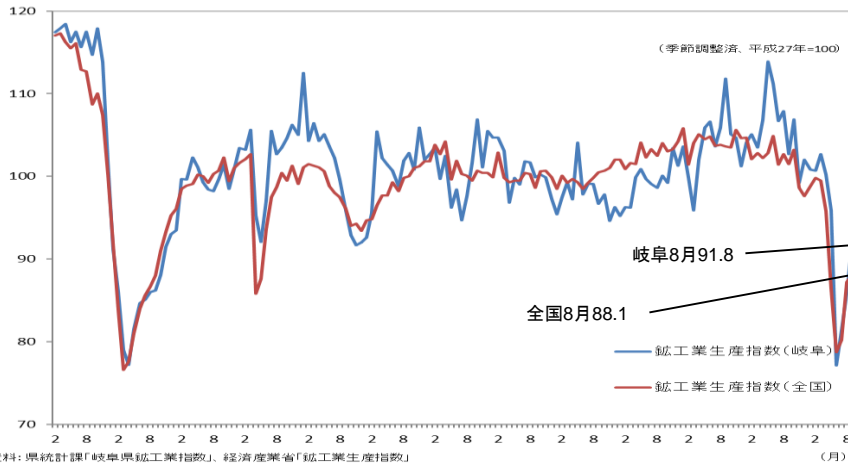
資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

# 製造業

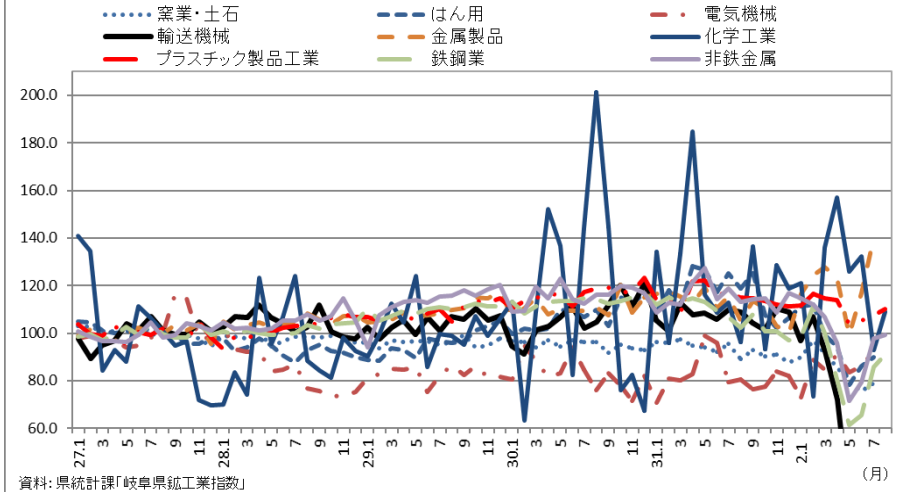
- 8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、91.8で前月比7.0%と上昇した。
- 前月比では、主な産業の多くで上昇となった。

- 8月の主な産業の指数は、輸送機械で前年同月比25.5%、金属製品で同20.3%、化学工業で同17.6%、鉄鋼業で同6.5%など多くの産業で上昇した。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数 (季節調整済、平成22年=100)



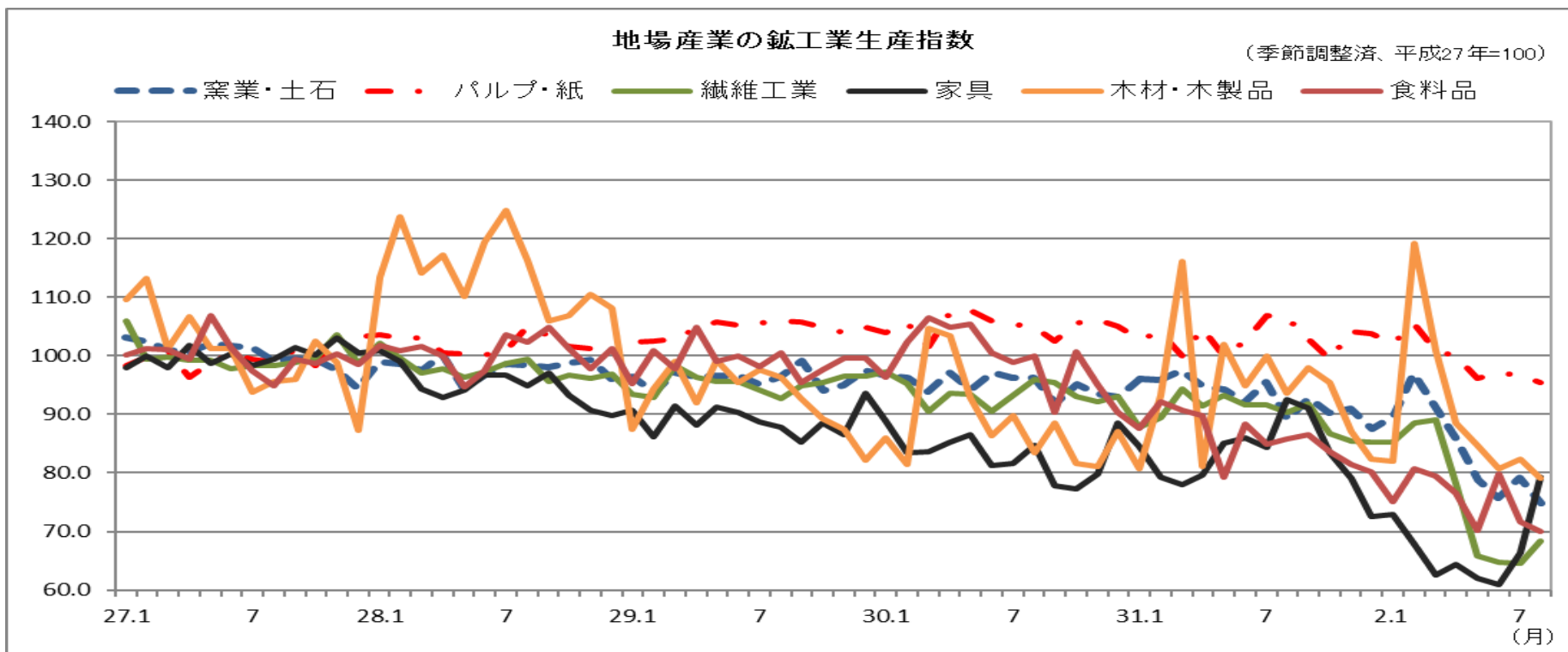
## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆主要顧客であるトヨタ自動車が生産を回復しており、当社も回復傾向にある。(輸送用機械)
- ◆電子材料関係は引き続き堅調であるのに加え、自動車関連・外食産業関連向けについても若干ではあるが需要が戻ってきたようだ。(輸送用機械)
- ◆10月に入ってから土曜日の半分は出勤日となっている。10月の売り上げは対前年比105%程度となる見込み。11月、12月も同じく対前年比100%超となる見込みだが、来年1~3月については、アメリカ大統領選挙や中国情勢の動向に大きく左右されるため、現段階では何とも言えない。(輸送用機械)
- ◆国内からの受注は、自動車関係の設計業務を中心に戻りつつあるが、海外からの受注はない状況が続く。現在の稼働率は50%程度である。1~2か月後には70~80%になるかと思われる。(電気機械器具)
- ◆年末にかけて徐々に7~8割程度まで回復すると予測していたところ、急激に回復し、現在は前年同月比で100%の水準となった。停止していた一部の生産設備も再稼働し、フル稼働体制となっている。(非鉄金属)

## 製造業-2

○8月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、家具で前月比19.6%、繊維工業で同5.9%と上昇したものの、窯業・土石で▲5.4%、木材・木製品で同▲4.1%、食料品で同▲2.2%、パルプ・紙で同▲1.2%と減少した。



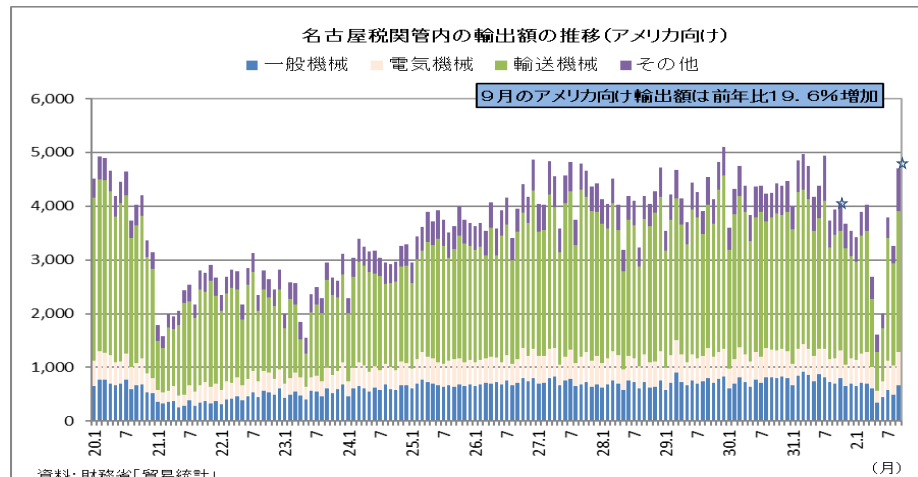
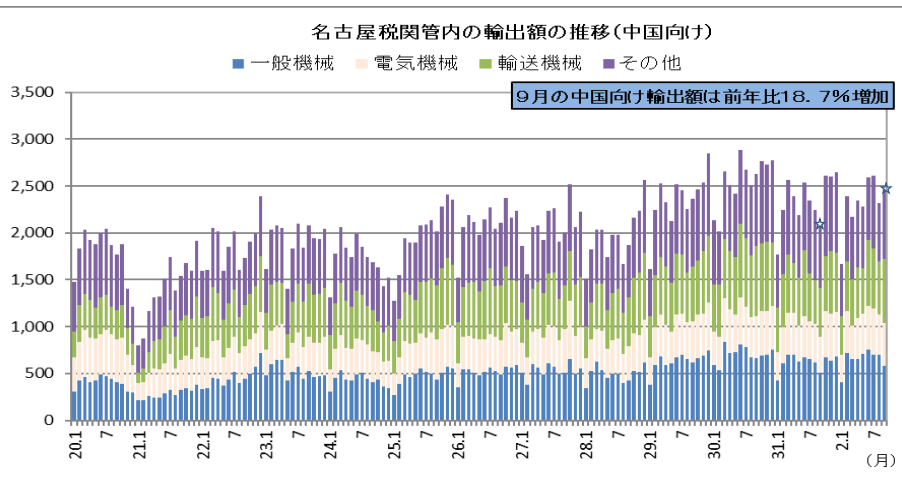
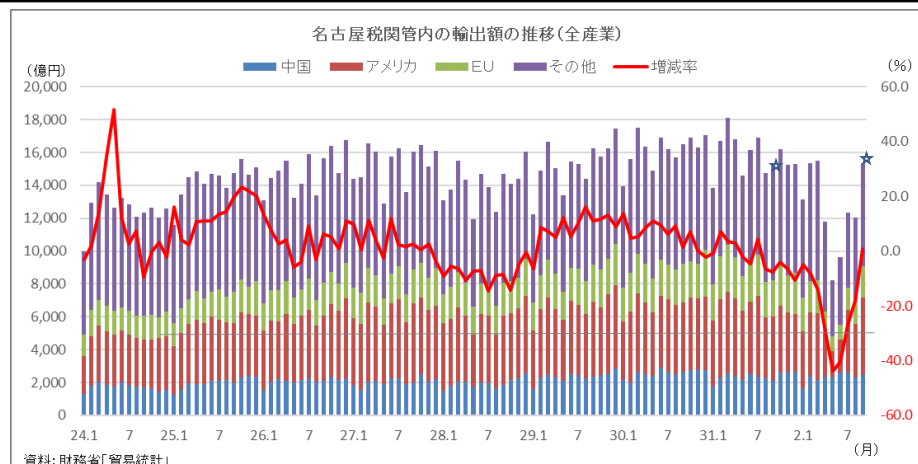
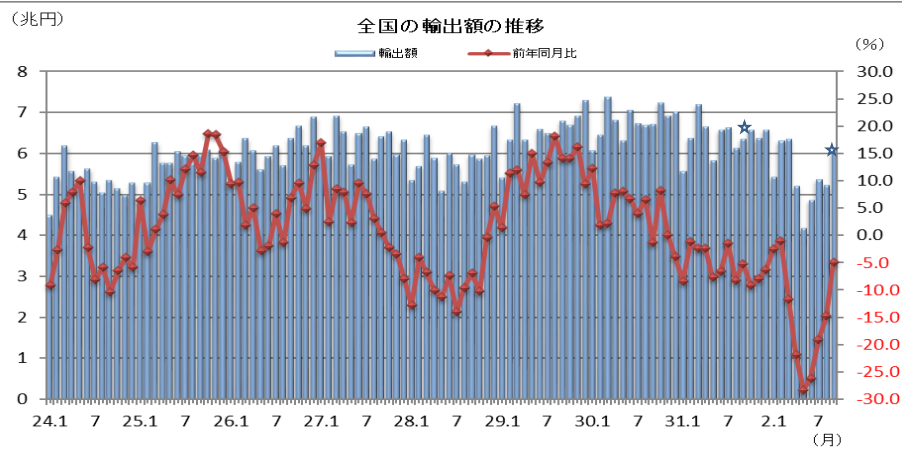
### 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 春夏と比較し、さらに悪い状況。ただ、中国向けの反物の動きが活発になってきた。また、今年の冬は寒く、冬物が多く動くと思われるので、今後の動きに期待が高まっている。(繊維)
- ◆ 新築用建材は低調であるものの、5月以降、DIY用の軽いレンガ風タイルの需要が伸びており、ECモールや自社ECサイトの受注が好調である。(タイル)
- ◆ 新型コロナウイルスの影響で需要が高まっている。即戦力となる中途採用を募集しており、先を見据えて人材を育てている。(紙)

# 輸 出(名古屋税関管内)

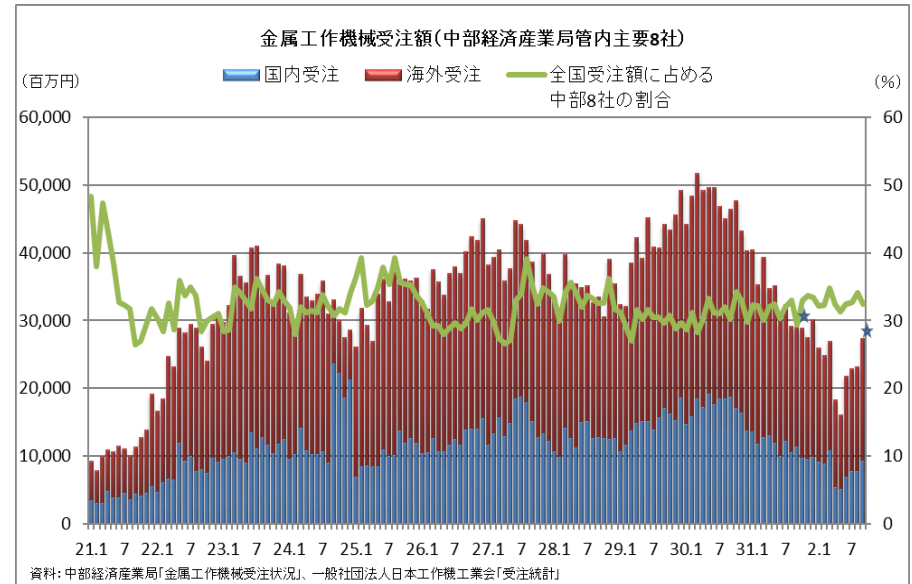
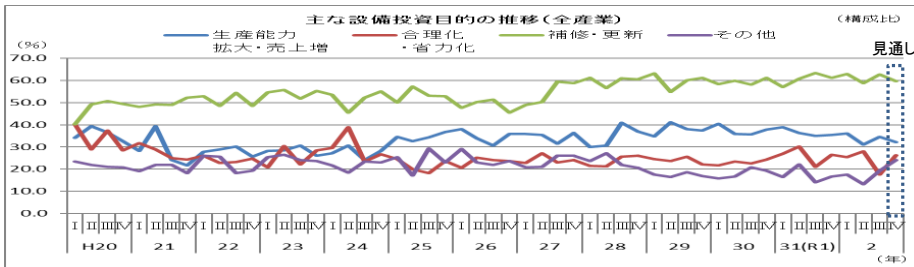
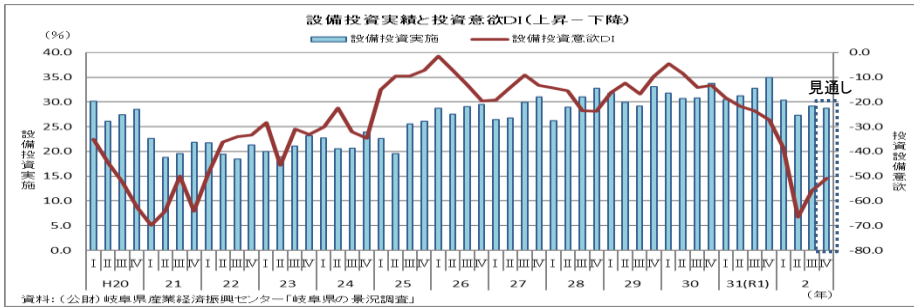
- 9月の輸出額(全国)は、6兆541億円と前年同月比▲4.9%と22ヶ月連続で減少となった。
- 9月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆5,342億円と前年同月比0.9%と増加し、14ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比18.7%増加した。その内、輸送用機械で前年同月比32.1%、電気機械で同20.2%、一般機械で同13.1%増加した。アメリカ向けは、全体で前年同月比で19.6%と増加し、14ヶ月ぶりに前年を上回った。その内、一般機械で前年同月比▲5.9%と減少したものの、電気機械で同34.8%、輸送機械では同14.0%増加した。



# 設備投資

○10-12月期の設備投資実施見通しは前期比▲0.5ポイント低下、設備投資意欲DIは同5.0ポイント上昇。設備投資実施見通しの目的別では、「補修・更新」で前年同月比▲3.1ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同▲2.3ポイント低下し、「合理化・省力化」で同10.6ポイントと上昇した。

○9月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲5.9%と23ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注では同▲18.1%と22ヶ月連続で前年を下回ったが、海外向けは同2.0%と23ヶ月ぶりに前年を上回った。



## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 機械は随時更新しており、来年、技術棟などの建物の建設予定がある。(非鉄金属)
- ◆ 工場の集約を検討している。(生産用機械器具)
- ◆ サプライチェーン補助金の申請をしており、小ロット多品種生産を行うことができるよう体制を整えている。(生産用機械器具)
- ◆ IT関連の設備投資は積極的に行っている。(生産用機械器具)
- ◆ 細々とした機械の更新を行う程度としている。(金属製品)
- ◆ 社屋等を建て替えた他、ものづくり補助金を活用し、機械を2台買い替えた。(紙)

## 製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

- ◆ 9月末をもって休業体制は終了したが、管理部門の一部でテレワークと時差出勤を実施している。(輸送用機械)
- ◆ 新型コロナウイルスの影響はほぼ受けなかったと考えている。(非鉄金属)
- ◆ 自動車関係の動きは完全に戻っている。国内工場は100%以上稼働しており、残業して対応することもある。取り扱っている車種の売れ行きがたまたまよいだけかもしれない。中国の工場は完全には戻ってきてはいないが、回復傾向にある。9月、10月は休業を実施しておらず、今後もその予定はない。(非鉄金属)
- ◆ 9月は前年同月比で90%まで回復すると予測していたところ、結果的には95%まで回復。今後も年明けの2月までは95%程度で推移する見込み。海外では中国が堅調で既に100%超。タイもほぼ回復している。(輸送用機械)
- ◆ 現地へ訪問できておらず、韓国の協力企業の状況が正確にわかっていない。(生産用機械器具)
- ◆ 自動車関連は徐々に回復基調にあるが、メーカーによってその格差は大きく、悪化し続けるメーカーもある。農機具関連は、ほぼ従来のレベルに戻りつつある。建設機械関連は中国向け部品の輸出は好調が続くが、国内向け部品は依然として回復に至っていない。(生産用機械器具)
- ◆ 前月から好調を維持し、11月の受注分は昨年同月比で110%となっている。今後については不透明であるが、今の受注状況が続くのではないかと見込んでいる。(はん用機械)
- ◆ 生産稼働率は、8月は約60%程度であったが、今は80%程度まで回復した。スマートフォンや自動車部品の受注は戻ってきている。人材についてはやや不足感を感じているが、今の体制で進めるつもりである。(金属製品)
- ◆ 新型コロナウイルスの影響により落ち込んだコンビニ向けの売上がまだ戻り切っていない。(プラスチック製品)。
- ◆ 当社主催の展示会を開催できていない。業界全体でもイベント系は縮小傾向にある。(繊維)
- ◆ 売上は、対前年同月比▲20%減少。今後、マンション・ビル等の新設を控える動きが出てれば、タイル受注が減り、業績は悪化すると見込んでいる。(タイル)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に展示会への連続出展を止め、エンドユーザー向けにSNS発信を始めた。(タイル)
- ◆ 海外見本市に出展できないので、新規顧客取得へ動けない。(刃物)
- ◆ 「GoTo事業(トラベル、イート)」の影響で外食や旅行が増えており、当社もその恩恵を受けている。ただし、土産物(加工)は特に厳しいと聞いている。(紙)
- ◆ 新型コロナウイルスの影響により、工務店が家を建てられないので、併せて家具も売れなくなっている。(木工)

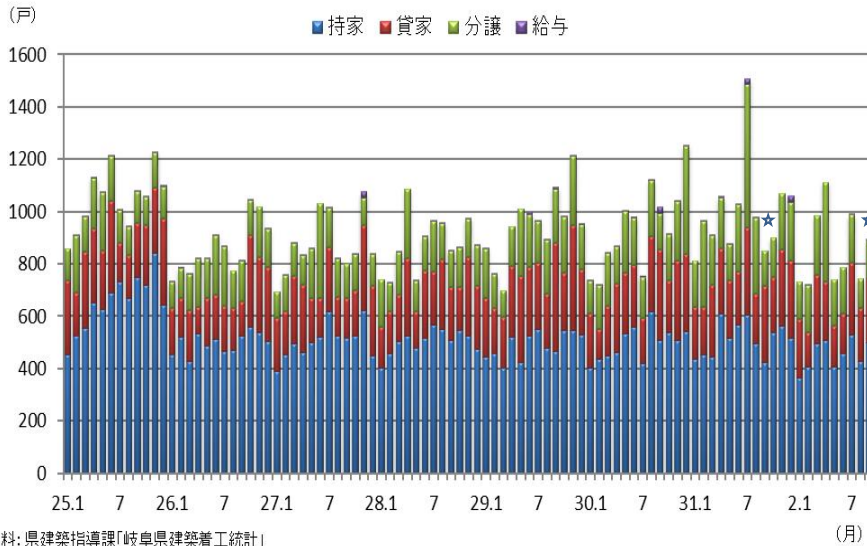
# 住宅・建築投資

○9月の住宅着工戸数は、前年同月比4.9%と前年同月を上回った。

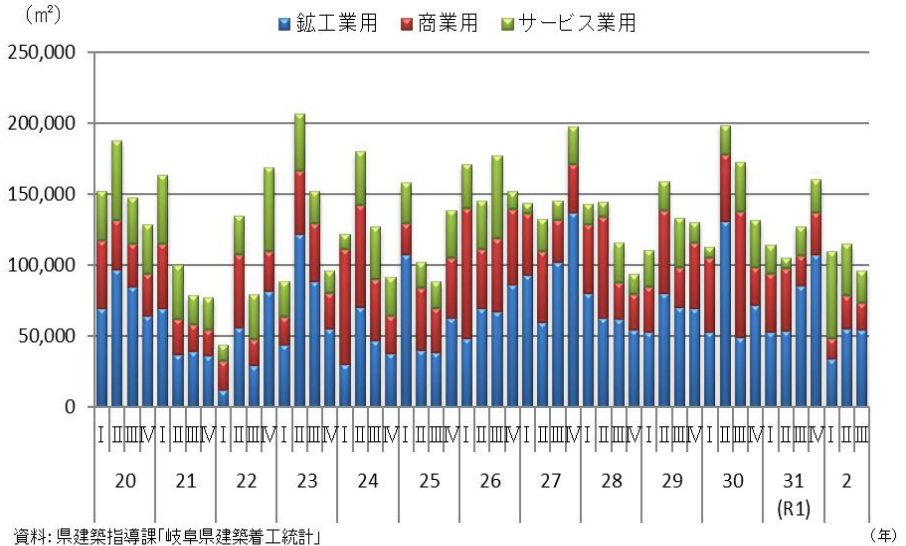
○持家で前年同月比18.5%、分譲で同6.6%と増加したものの、貸家で同▲15.8%と減少した。

○7-9月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比9.8%と増加したものの、鉱工業用で同▲36.2%、商業用で同▲10.8%と減少したことから全体としては同▲24.6%と減少した。

新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



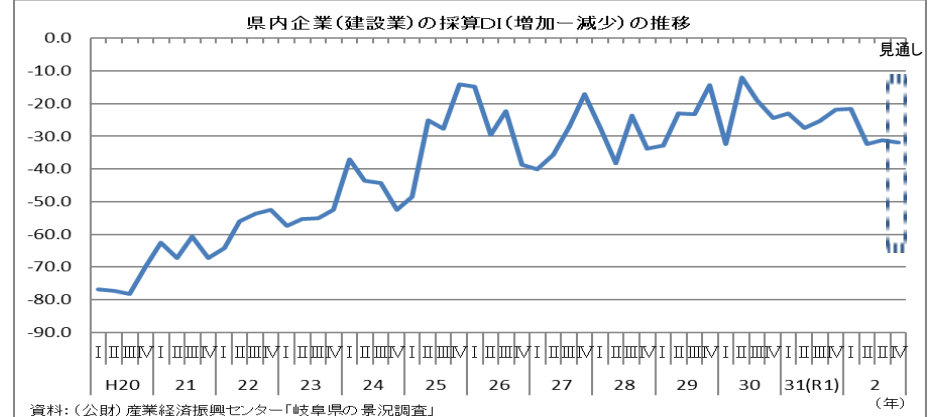
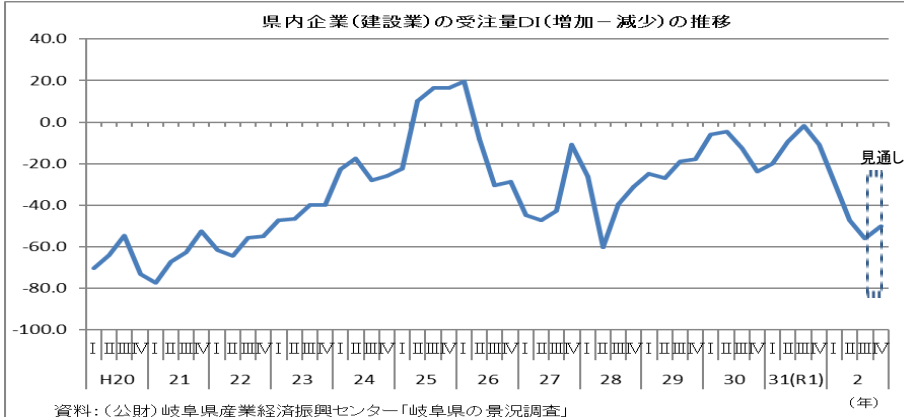
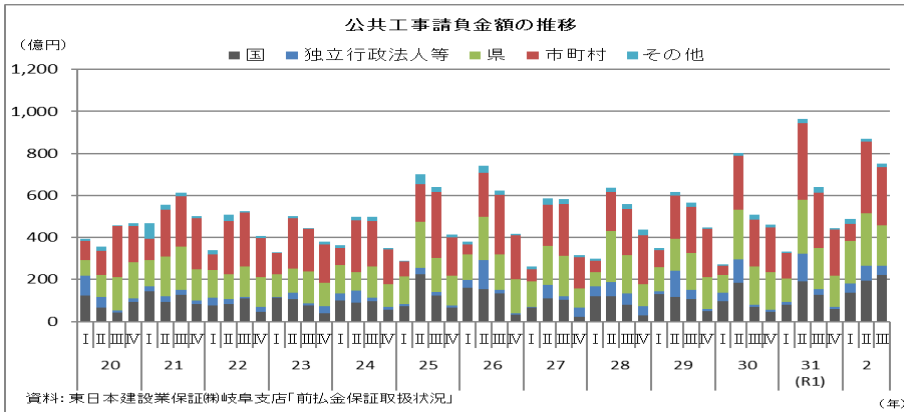
## 現場の動き

- ◆ 8月のモデルハウスへの来場者は、昨年同月の120%を超えるほど盛況であったが、9月、10月は昨年同月の約半分と、急に人の動きが止まった。原因はわからないが、「Go To旅行」に代表されるように、旅行・レジャーに人の関心が向いているためではないか。運動会など家庭行事の影響もあると思う。(住宅建築)
- ◆ 大型公共物件の案件が入ってきている。(木材加工)
- ◆ 10月ころにミャンマーの研修生6名を受けるとで準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響もあり来年に遅れる見通し。引き続き情報収集し、準備を進めている。(木材加工)



# 公共工事

- 7-9月期の発注者別の公共工事請負金額は、県で前年同期比▲3.4%と減少したものの、国で同75.1%、独立行政法人等で同64.5%と増加し、全体で同17.6%増加した。
- 県内建設業の10-12月期の受注量DI見通しは前期比6.1ポイントと上昇、同採算DI見通しは同▲0.5ポイントと低下した。



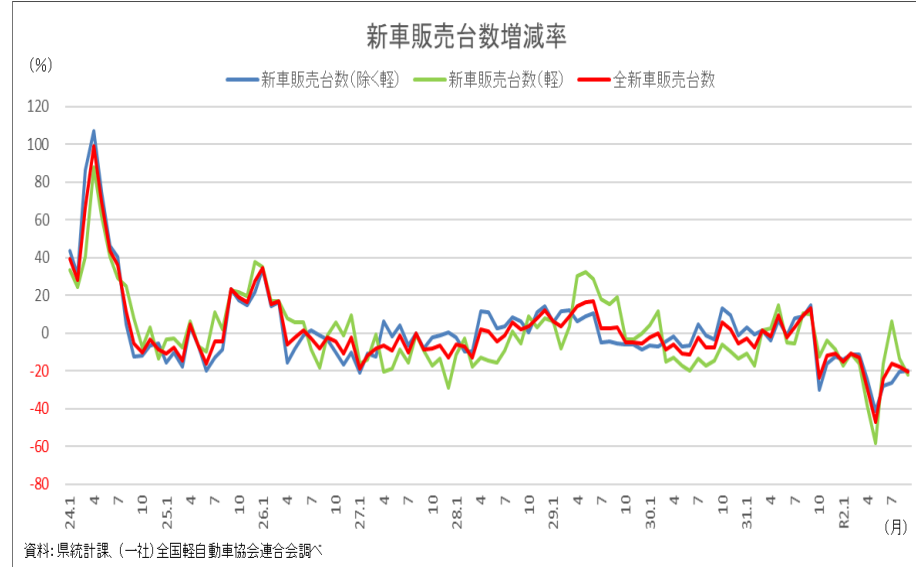
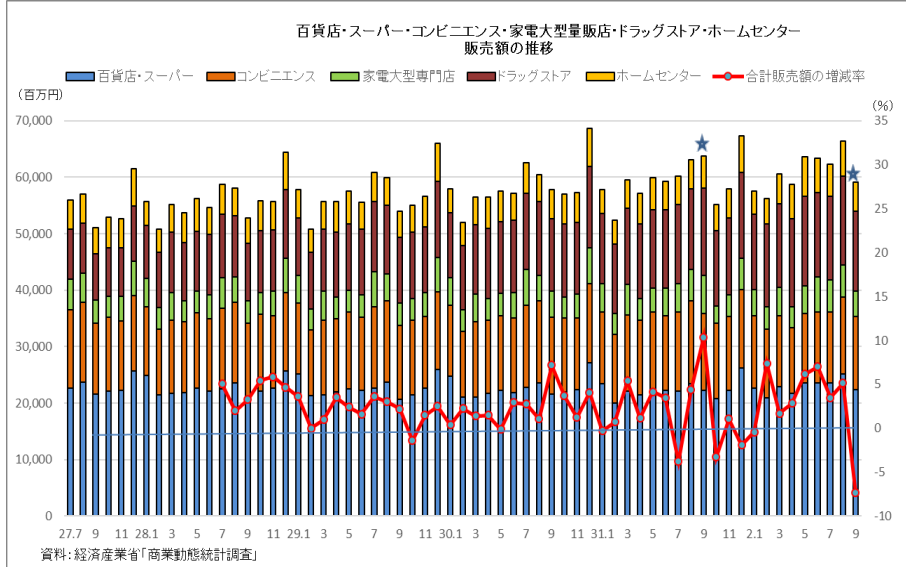
## 現場の動き

- ◆ 先月に続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で人材が地方に流れており、人材派遣会社からの売り込みが多い。
- ◆ 国と県から昨年程度の発注があるため、会社稼働率は例年並みで推移。(以上、建設)

# 個人消費(流通・小売)

○9月は家電大型専門店が前年同月比▲33.3%、ホームセンターで同▲10.9%、ドラッグストアで同▲8.1%、コンビニで同▲4.8%、百貨店・スーパーで同▲2.2%減少し、全体では同▲7.3%と減少した。

○9月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲19.7%と12ヶ月連続で減少し、軽自動車も同▲21.9%と減少に転じた。  
○合算では同▲20.5%と、12ヶ月連続で前年同月を下回った。



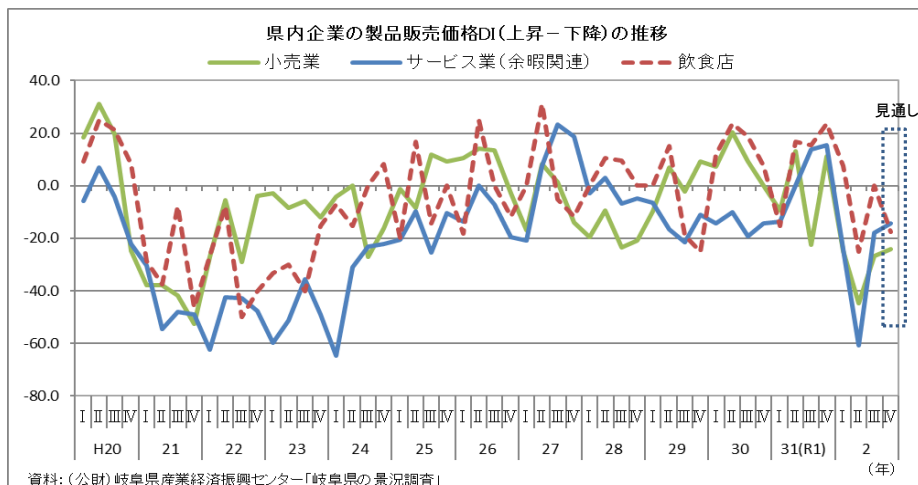
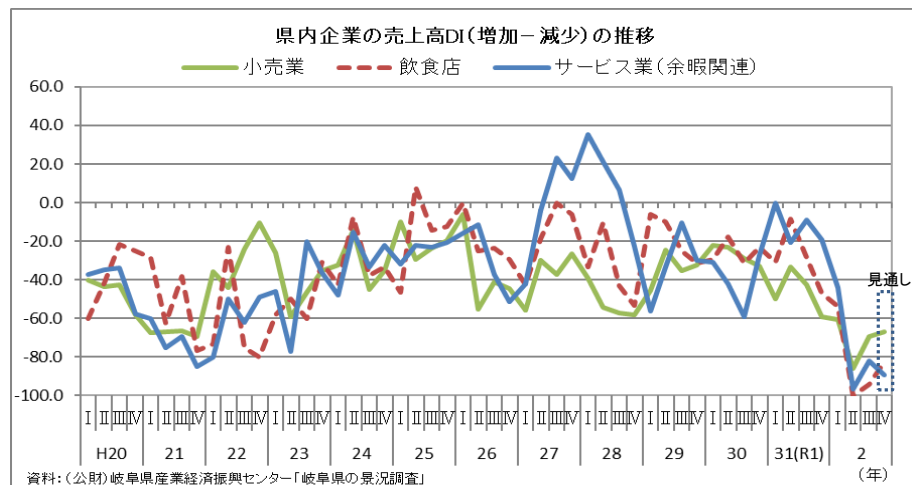
## 現場の動き

- ◆ 昨年10月が消費税増税直後で消費が冷え込んだ月であり、今年の10月はそれに比べてはよかったという印象。飲食店が比較的厳しかったが、好調の映画館に引っ張られ、昨年よりは良い結果となった。(岐阜市内大型商業施設)
- ◆ 客足減・売上増の傾向は変わらない。密は出来るだけさける、郊外店舗なので遠出を嫌うという傾向がまだ続いている。郊外からの客が主に利用する駐車場は、コロナ前は満車になることもあったが、最近は40%程度しか埋まっていない。衣料品の不振が続いていたが、冬物の時期になって少し戻っている。(大垣市内大型商業施設)
- ◆ 客数は前年比減少、売上は前年比増加の状態がまだ続いている。計算上は買い物回数が減ってまとめ買いということだが、客の動きを見ているとなんとなく年末に向けて今は買い控えとも思える。(岐阜市内大型スーパー)

## 個人消費(流通・小売)－2

○10－12月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比11.7ポイント、小売業で同2.7ポイント上昇し、サービス業(余暇関連)で同▲7.1ポイント低下した。

○同じく販売価格DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比3.6ポイント、小売業で同2.7ポイント上昇し、飲食店で同▲17.6ポイント低下した。



### 現場の動き

- ◆ 柳ヶ瀬のイベントである「サンデービルディングマーケット」「よぞらカフェ」「はぴやな」は、規模を縮小して再開し、徐々に人出はもどりつつある。
- ◆ 和菓子店では新店舗への移転の効果と新商品の投入により前年同月比200%。飲食店は同▲27%となったが、前月同様に時間短縮等によって人件費が減少したため、利益水準は維持した。ブティックは同▲17%。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で海外生産や新規企画が停止し、目新しい商品の提案ができない。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 日用品・雑貨店の売上は前年同月比▲20%程。新型コロナウイルス対策用品の引き合いが落ち着いてきた。和菓子店は同▲10%程。GoToトラベルの地域共通クーポンも使う方が多くみられたが、イベントの自粛が響き減収となった。(大垣市商店街)
- ◆ 酒類販売の売上は前年同月比▲10%。10月より、ビールの値下がりがあったが、売上が増加する事はなかった。コロナ以前には戻らず、宴会や団体客がまだまだ少ない。時計・宝石店は同▲30%。「GoTo商店街事業」を利用して、年末イベントを検討中。(多治見市商店街)

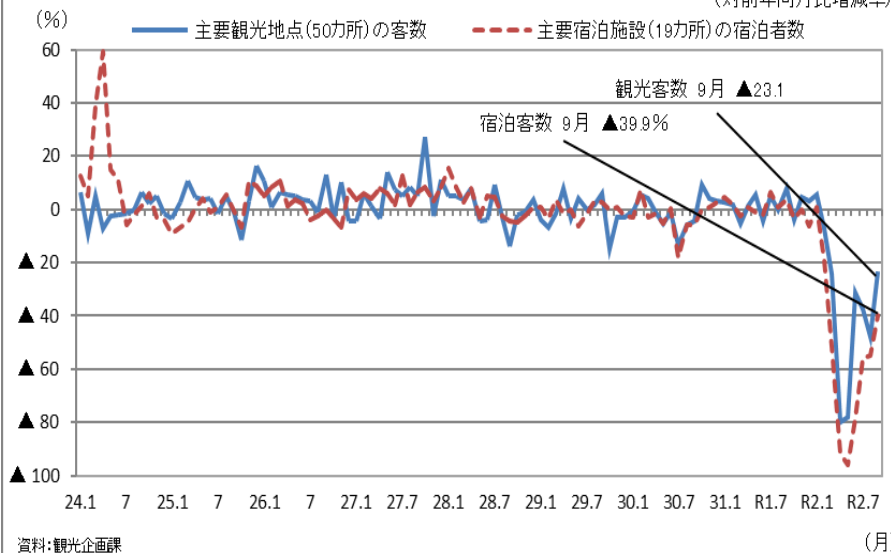
# 観光

○主要観光地における9月の観光客数は、前年同月比▲23.1%と減少し、8ヶ月連続で前年同月を下回った。主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同期比▲39.9%と減少し、8ヶ月連続で前年同月を下回った。

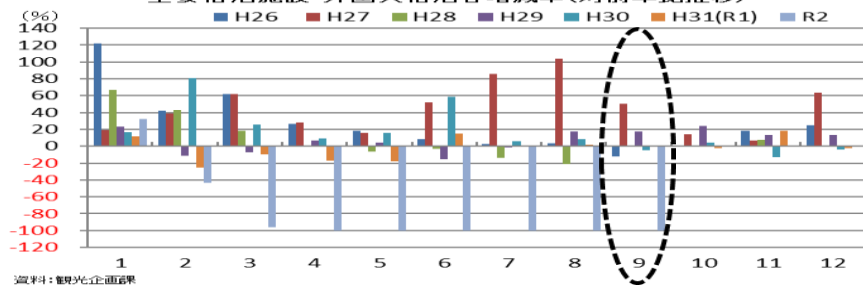
○9月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比で▲99.8%と大幅な減少が続いており、8ヶ月連続で前年同月を下回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

(対前年同月比増減率)

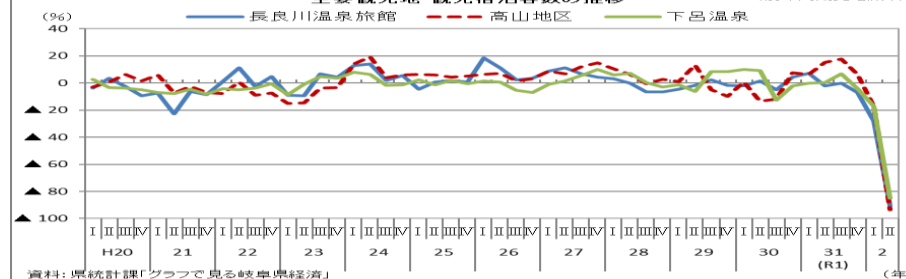


主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

(前年同期比増減率)

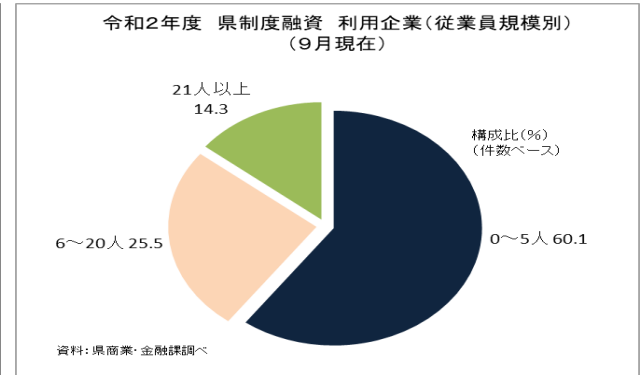
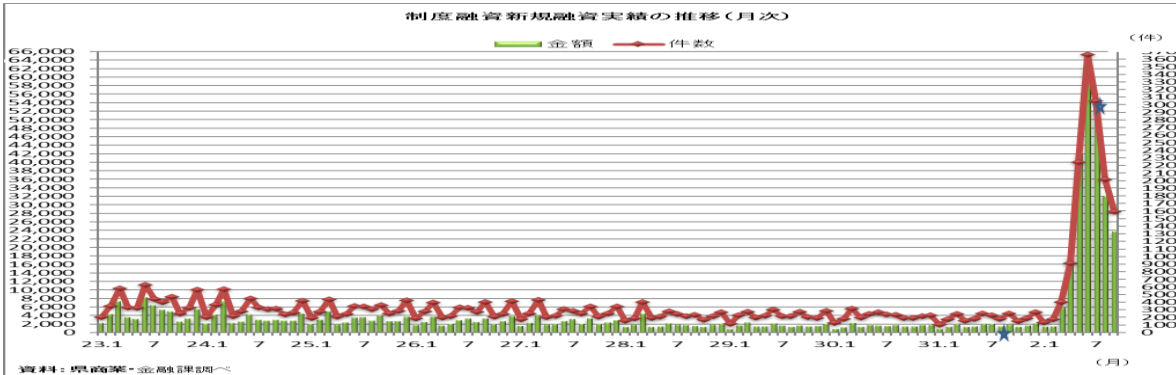
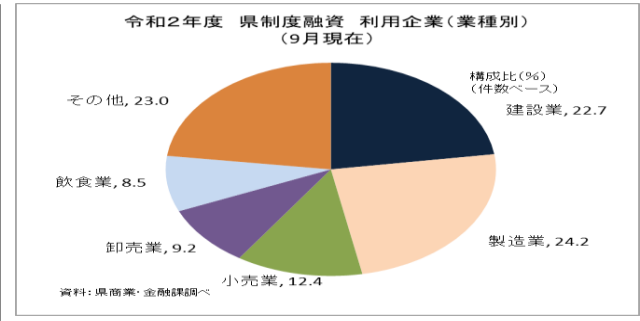
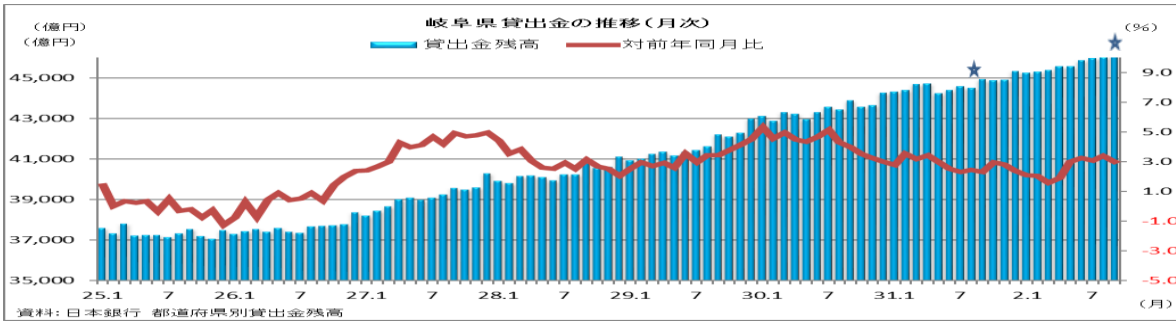


## 現場の動き

- ◆ 前年と比較して、週末は高稼働だが、平日は5割程度の稼働。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ 観光地ではないので、予約がさっぱりない。(大垣市内の宿泊施設)
- ◆ GoToトラベルの地域共通クーポンが10月から開始となり、GoToトラベルを利用した観光客の宿泊が徐々に増えている。(多治見市内の宿泊施設)
- ◆ GoToトラベルはビジネスや会社出張など幅広い利用がある。(多治見市内の宿泊施設)
- ◆ GoToトラベルは来年1月末までなので、それ以降は不安しかない。(奥飛騨の宿泊施設)
- ◆ GoToトラベルの効果はあるが、高額客室や露天風呂付き客室等に集中している。(下呂市内の宿泊施設)

# 資金繰り

- 9月の岐阜県貸出金残高は、4兆6,293億円で前年同月比3.0%とプラス基調が続く。
- 9月の制度融資実績は、金額が23,761百万円で前年同月比1,148.7%と大幅に増加した。件数は1,589件で同535.6%と大幅に増加した。
- 従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の60.1%を占めている。

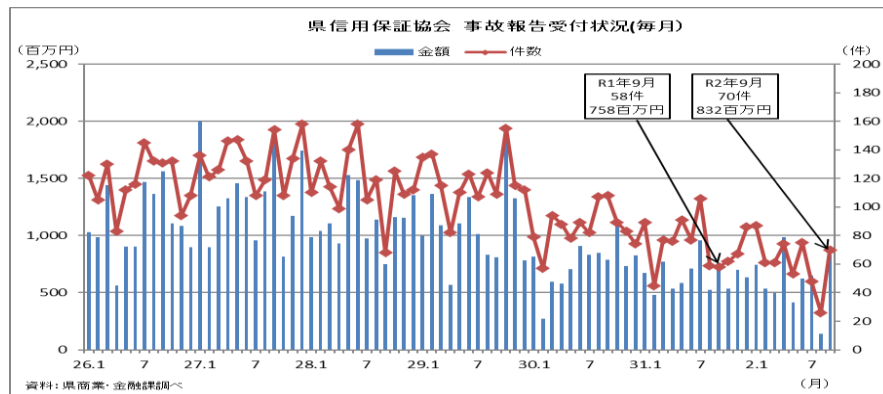
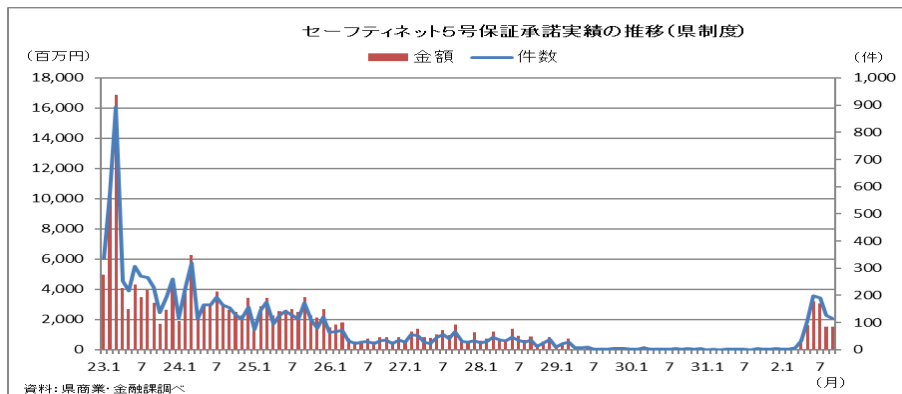
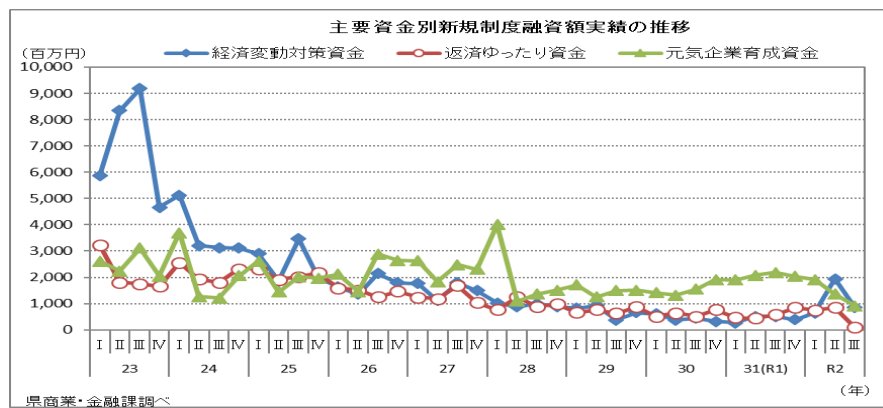
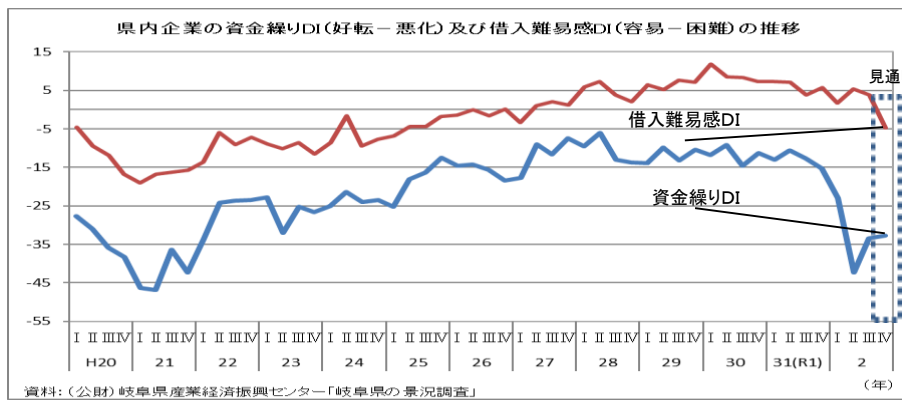


## 現場の動き

- ◆ 新型コロナウイルス関係の無利子融資は従前に比べると落ち着いており、資金需要は一服している。引き続き、設備投資は延期の傾向にあるが、一部ではこれまで中止していた設備投資を再開させる動きも見られる。
- ◆ 新型コロナウイルス関連の融資件数は落ち着いており、運転資金需要は限定的。これまでのコロナ関連融資の反動と思われる。飲食業で非接触型のポスレジ更新の設備投資案件があるなど、ウィズコロナを意識した設備投資も一部発生している。
- ◆ 融資は落ち着いているが、建設業で今後の資金を蓄えておくために融資の申し込みがあるなど先月より増加した業種もあった。(以上、金融)

# 資金繰り-2

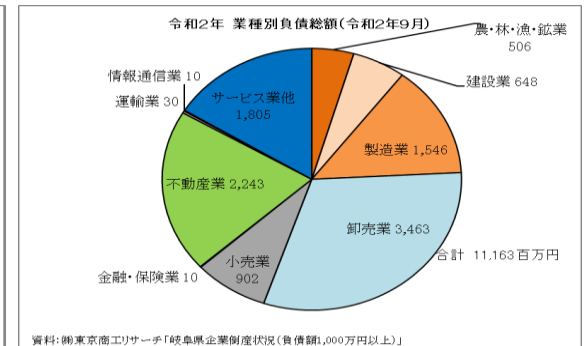
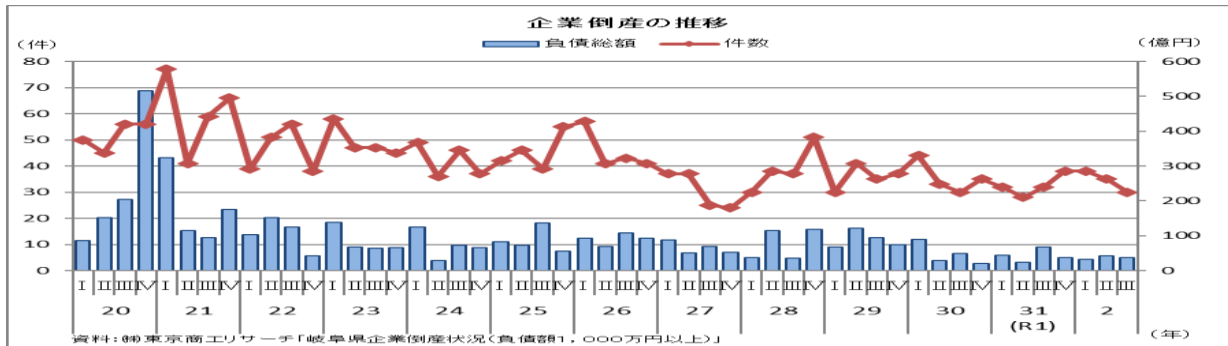
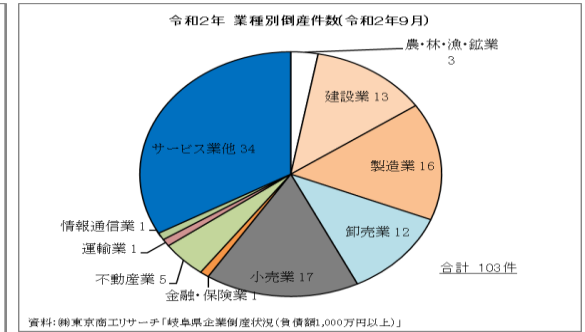
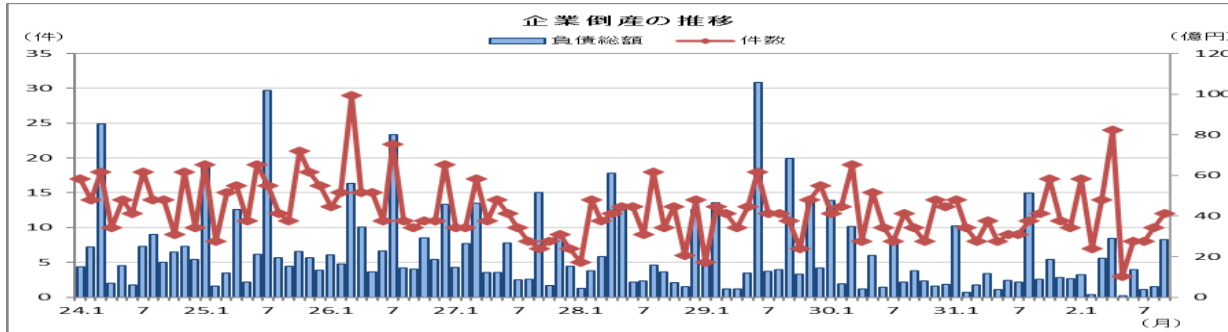
- 10-12月期の資金繰りDI見通しは▲32.7で、前期比0.8ポイント改善した。同借入難易感DI見通しは▲4.7で、同▲8.5ポイント悪化した。
- 7-9月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比66.6%と6期連続で増加、返済ゆったり資金で同▲84.9%と5期ぶりに減少、元気企業育成資金で同▲58.1%と2期連続で減少となった。
- 9月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が117件で前年同月比112件増加、金額は1,507百万円で同1,397百万円増加した。
- 9月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は70件で前年同月比20.7%と増加し、金額も832百万円で同9.7%と増加した。



# 倒産

○9月単月の倒産件数は前月比2件増加の12件、負債総額は前月比2,333百万円増加の2,840百万円となった。

○1月から9月までの累計倒産件数は103件となり、前年同期の92件から11件増加。累計負債総額は11,155百万円となり、前年同期の13,465百万円から2,310百万円減少で推移した。



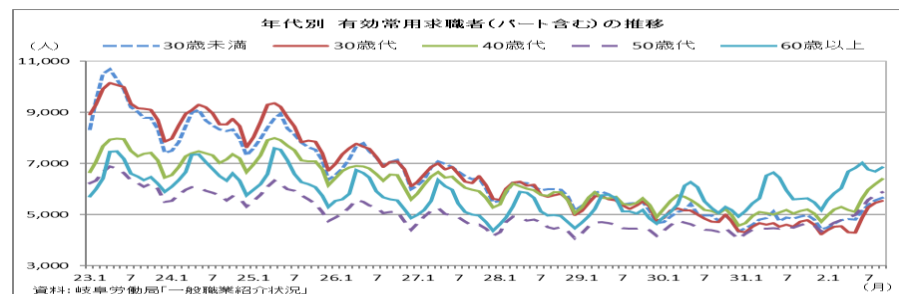
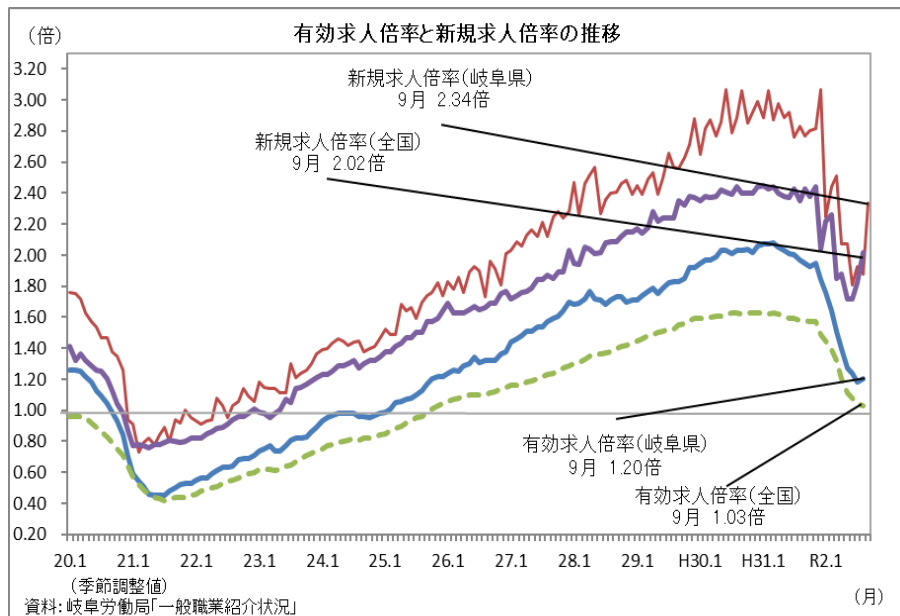
## 専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆令和1年9月度は負債総額1億円以上の倒産が2件のみであったが、令和2年9月度は負債総額1億円以上の倒産が5件発生したことに加え、(株)主婦の店の負債が14億8,300万円にのぼり、負債総額を大きく引き上げた。
- ◆コロナ禍の長期化で先行き透明感はまだ広がっていない。政府や自治体の資金繰り支援効果の息切れや融資に依存した過剰債務などの問題も浮上するなか、体力に乏しい中小零細企業の倒産が大幅に増加する可能性もあるため、倒産の動向は楽観できない。

# 雇用

- 9月の有効求人倍率は1.20倍と、前月比0.02ポイントと9ヶ月ぶりに上昇。
- 9月の新規求人倍率は2.34倍と前月比0.46ポイントと上昇。

- 9月の雇用保険受給者人員は、前月比2.9%と増加した。
- 年代別有効常用求職者は、全ての年代で前年同月比増加した。



## 現場の動き

- ◆人手は若干不足気味ではあるものの、新たに派遣社員を採用する予定はない。特定技能の受け入れを待っているが、現時点での受け入れ再開は年明けと予測しており、それまでは時間外勤務で対応する。(輸送用機械)
- ◆令和3年4月の採用について、工場見学に4~5名来てくれている。例年くらいの人数の採用を考えているが、もっと来て欲しい。(非鉄金属)
- ◆人材の過不足感については、人材不足を感じている。派遣職員で対応している。(非鉄金属)
- ◆人手不足があり、常に求人を出しているが、反応がない。(木工)
- ◆人手は余っている。(繊維)



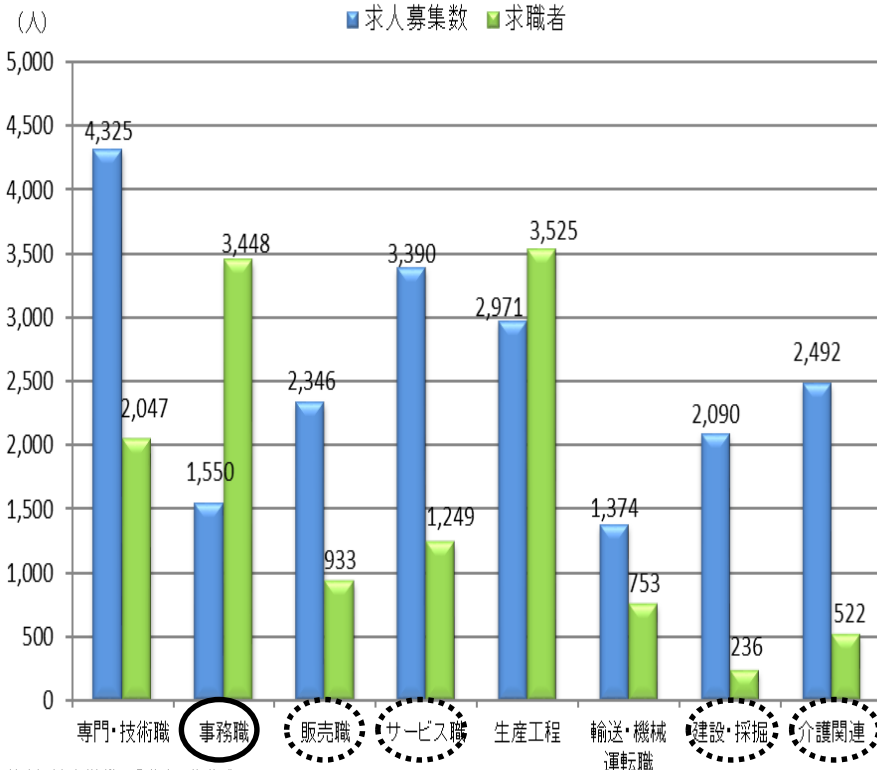
# 雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で8.86倍、介護関連で4.77倍、サービス職で2.71倍、販売職で2.51倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.45倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

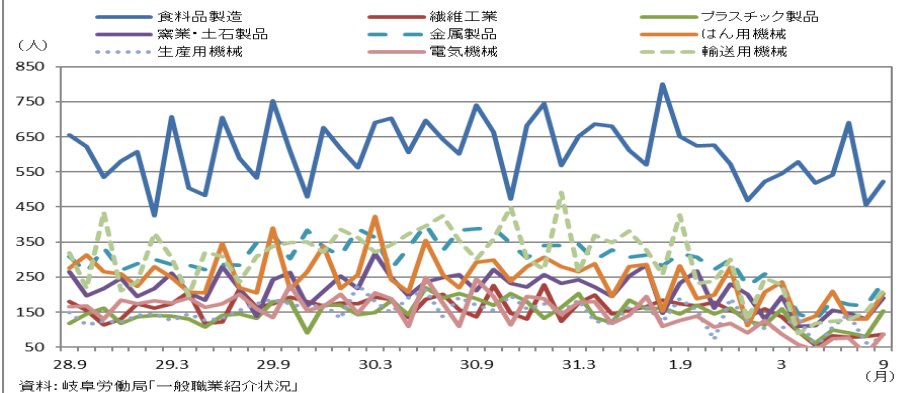
○9月の主要産業新規求人数は、プラスチック製品で前年同月比6.2%と増加したものの、生産用機械で同▲59.3%、繊維工業で同▲50.6%、輸送用機械で同▲50.4%、電気機械で同▲31.7%、はん用機械で同▲28.0%、金属製品で同▲25.8%、窯業・土石製品で同▲18.5%と主要産業の多くで減少した。

9月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)

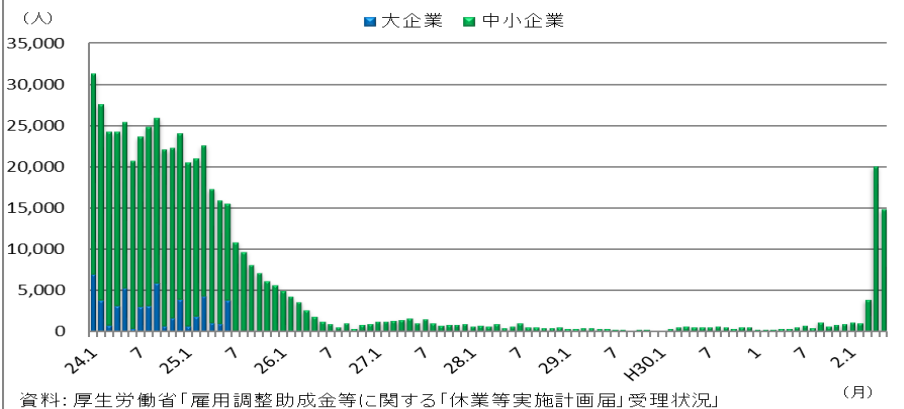


資料: 岐阜労働局「求人・求職」バランスシート

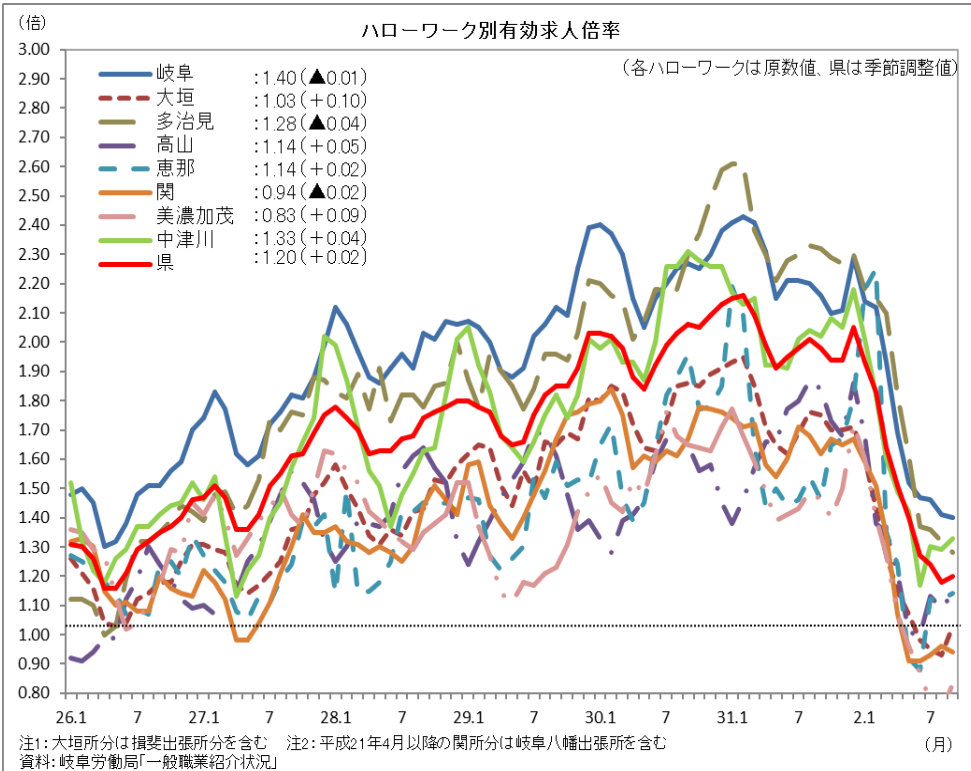
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



雇用調整助成金の申請状況



# 雇用(地域別)



○9月のハローワーク別有効求人倍率は、関と美濃加茂で1倍未満で推移している。前月比では、岐阜、多治見、関を除く地域で上昇した。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

### <ハローワーク中津川>

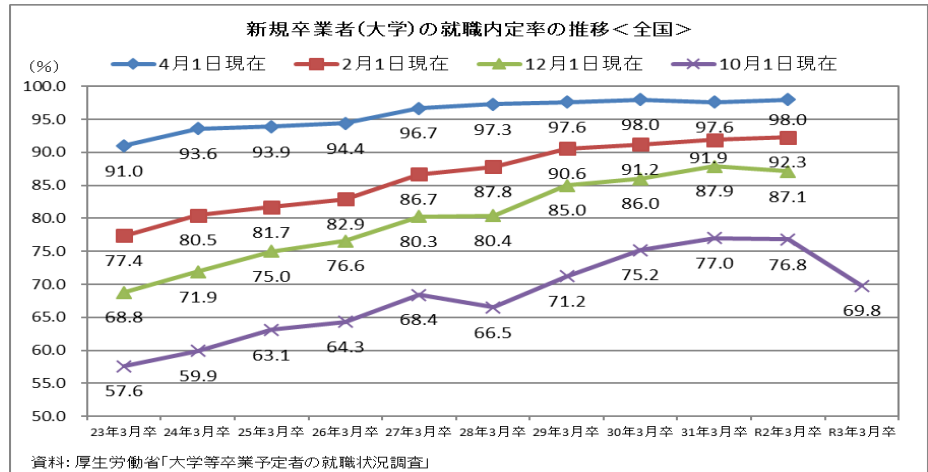
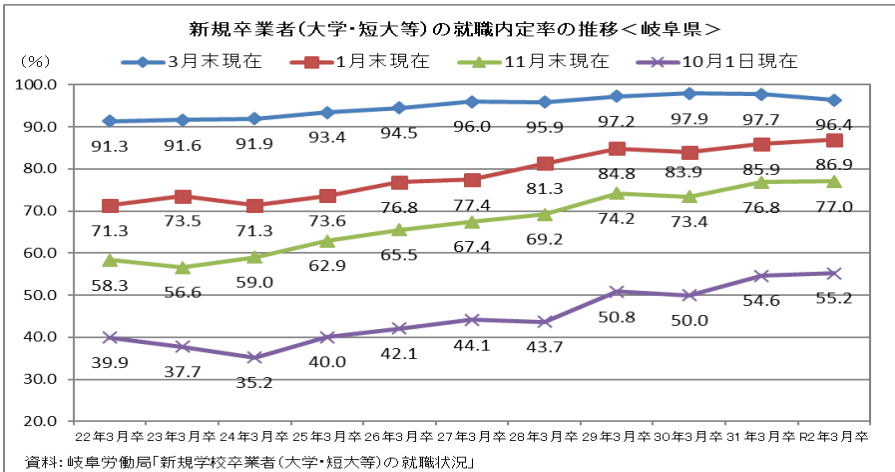
- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <窓口の様子> ※前月比

- ◆大垣と多治見を除き、混雑傾向がみられた。

# 雇用(大学・短大新卒者の就職)

- 岐阜県の令和2年3月末時点の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)の就職内定率は、96.4%であり、前年同時点と比べ▲1.3ポイント低下した。
- 全国の令和2年10月1日現在の大学・短大卒業者(令和3年3月卒業)内定率は69.8%であり、前年同時点と比べ▲7.0ポイント低下した。



## 現場の動き(2021卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

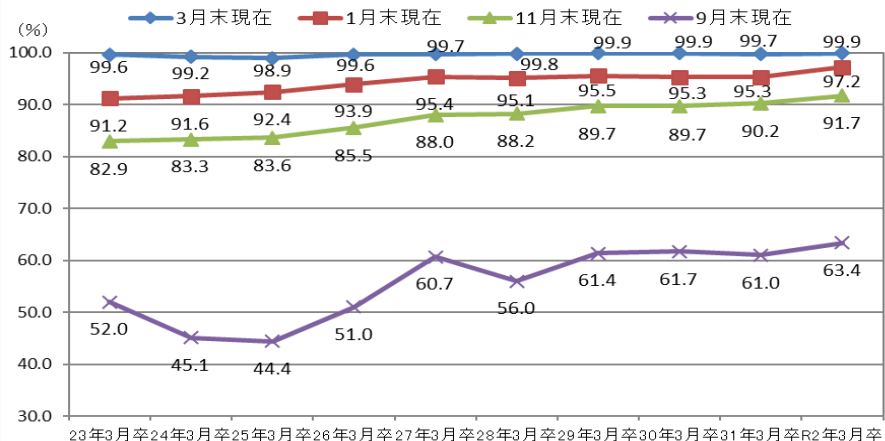
- ◆ 21卒の内定率はわからないが、昨年並みに決まってきたかと思われる。相談もかなり少なくなってきた。
- ◆ 21卒の内定は8割弱で、昨年より少し悪いものの昨年の数字にかなり近づいてきた。授業がオンラインで行われていることもあり、未内定の21卒に対する支援が難しい。地道に電話等でアプローチして状況の確認とアドバイスをしている。
- ◆ この時期の求人が減っており、21卒への支援が難しい。
- ◆ 外国人留学生を採用してくれる企業が少なく、留学生支援にも苦戦している。(以上、岐阜県内大学)
- ◆ 学生と連絡が取れないため、状況の把握が難しい。
- ◆ 10月から22卒向けのガイダンスをオンラインで実施しているが、集まりが良くない。(以上、愛知県内大学)

# 雇用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和2年3月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は99.9%であり、前年同時点と比べ0.2ポイント上昇した。

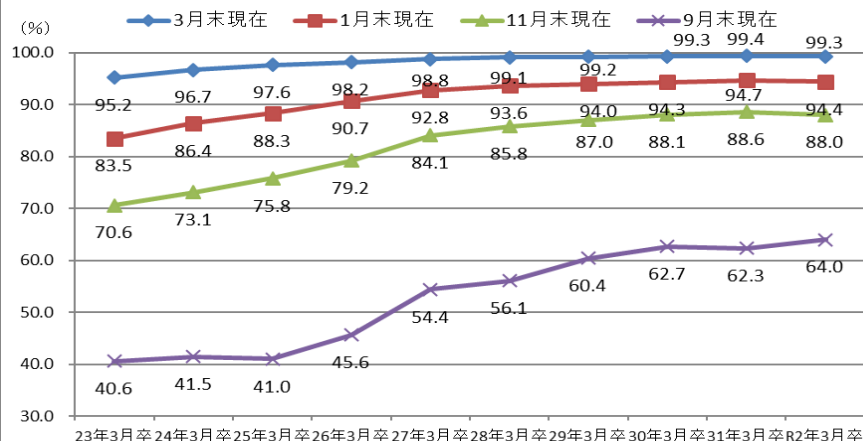
○全国の令和2年3月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は99.3%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイントと低下した。

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<岐阜県>



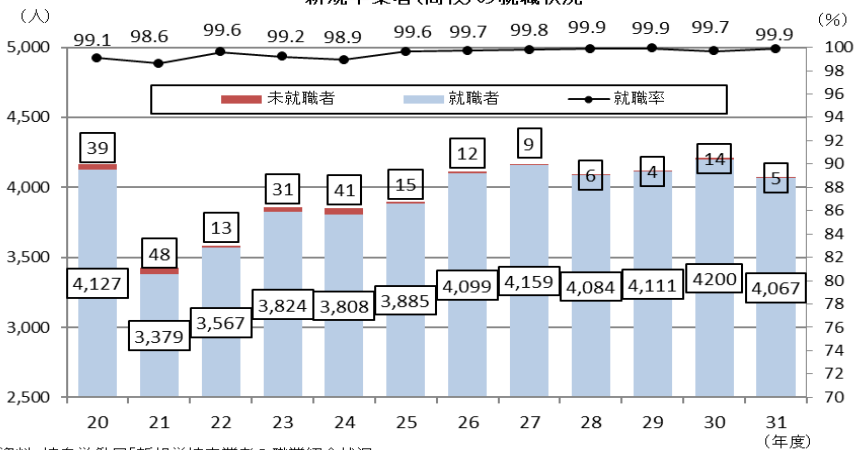
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<全国>



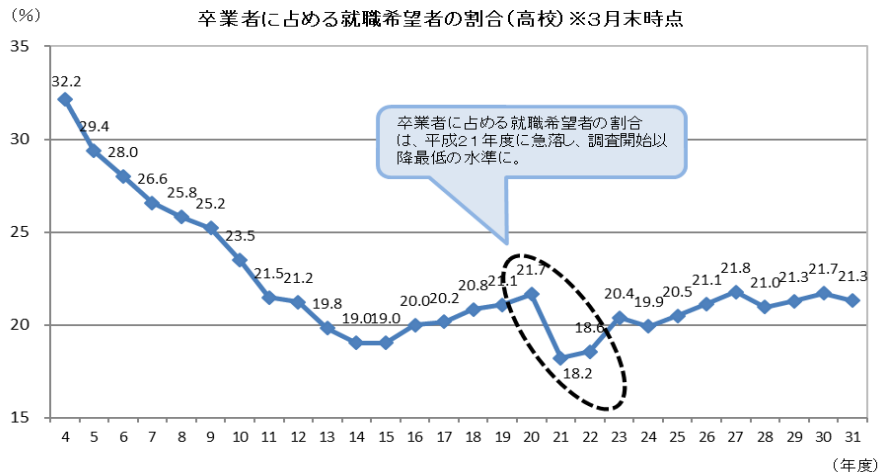
資料: 厚生労働省「高校・中学新卒者の求人・求職・内定状況(高校・中学新卒者)」

新規卒業者(高校)の就職状況



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

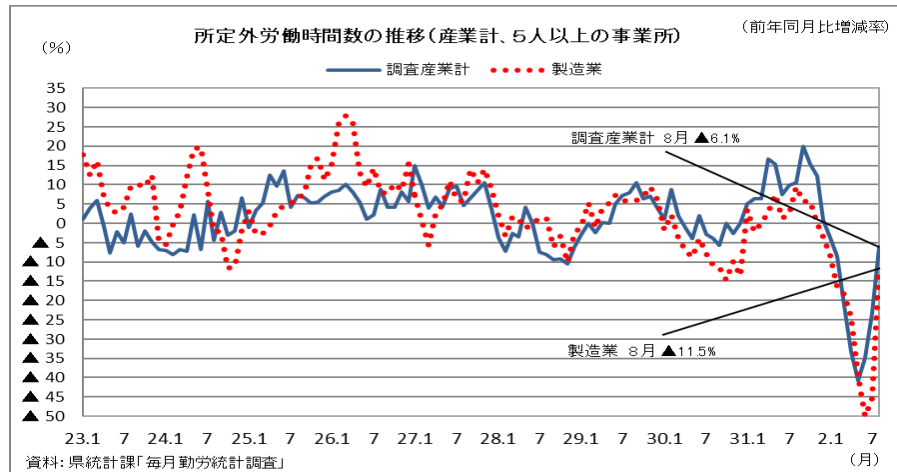
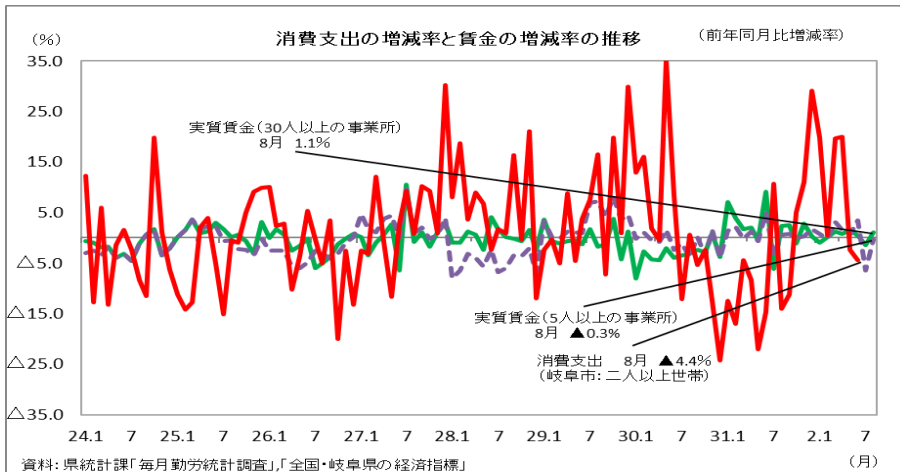
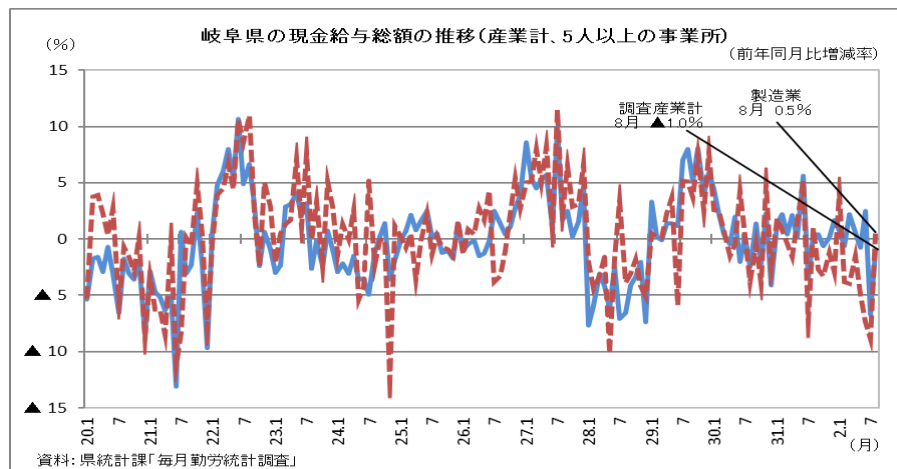
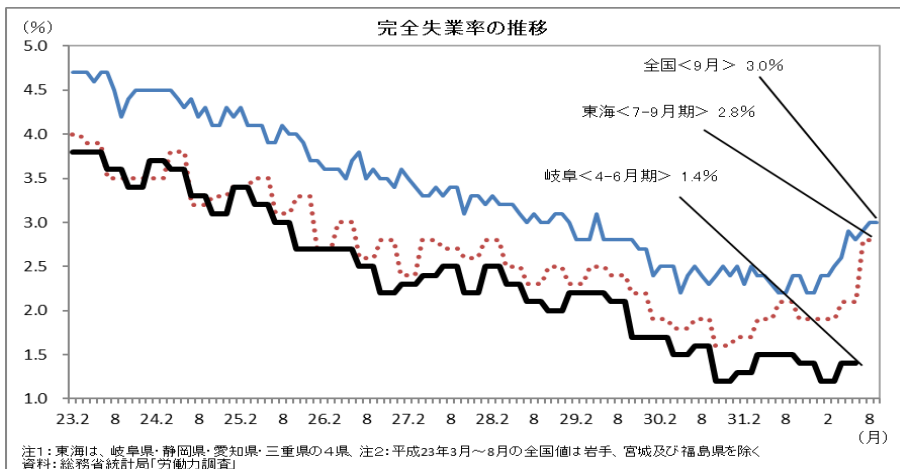
卒業者に占める就職希望者の割合(高校)※3月末時点



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の9月の完全失業率は3.0%で前月から横ばいで推移。岐阜県の4-6月期の平均は1.4%で前期比0.2ポイント悪化。
- 8月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲1.0%減少、製造業では同0.5%と増加。
- 8月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比▲0.3%減少、30人以上の事業所は同1.1%増加。8月の消費支出については同▲4.4%と2ヶ月連続で減少した。
- 8月の所定外労働時間数は前年同月比▲6.1%と8ヶ月連続で減少した。



# <経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、8月の鉱工業生産指数では、主な産業の多くで上昇した。ヒアリングにおいては、生産は回復傾向にあるとする声が目立ったが、アメリカ大統領選挙の結果等が今後の業績に与える影響を懸念する声もあった。
- 地場産業は、8月の鉱工業生産指数では、家具、繊維工業を除いて低下した。ヒアリングにおいては、春夏と比較してさらに悪い状況にあるが中国向けが活発になってきたとの声や、DIY用の軽いレンガ風タイルの需要が伸びており、ECモールや自社ECサイトの受注が好調であるとの声もあった。
- 設備投資は、9月の金属工作機械受注額について、全体と国内向けは前年同月を下回ったものの、海外向けでは23ヶ月ぶりに前年を上回った。ヒアリングにおいては、補助金を活用して設備投資を行う動きが見られた。
- 個人消費は、小売店の9月の販売額について、消費税増税前の駆け込み需要が見られた前年同月を下回った。ヒアリングにおいては、客足減・売上増が続き、まとめ買いの消費行動が見られるとの声があった。
- 観光は、新型コロナウイルスの影響により観光地、宿泊施設ともに前年同月を下回ったものの、前月値よりもそれぞれ+24.9ポイント、+14.8ポイントとなるなど回復しつつある。宿泊施設からのヒアリングからも、特に週末は高稼働となるなど、GOTOトラベル事業の効果が表れ始めている。
- 企業の資金繰りは、9月の制度融資実績で、引き続き、件数、金額ともに前年同月比で大きく増加した。金融機関からのヒアリングでは、ウィズコロナを意識した設備投資の動きが見られた。
- 雇用面は、9月の有効求人倍率は、1.20倍と9ヶ月ぶりに上昇した。ヒアリングにおいては、積極的な採用に取り組む企業がある一方で新たな雇用に慎重になっている企業もあり、雇用動向にはばらつきが見られる。